

組織拡大に全力を!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年12月11日
No.72

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

12月9日



全学連拡大中央委員会をうち抜く!

東北大学学生自治会・青野新委員長から 執行部信任選挙の勝利の報告

11・27全国集会での宣言通り、この中央委員会で勝利を報告できることに感慨無量です。今年度の学生自治会の団結でもぎとった勝利であり、同時に全国学生の勝利です。



許さないと立候補声明で訴え、これが東北大生に信任されました。民主党のマニフェストみたいにどんどん瓦解して

選挙戦の火蓋を切った11・27集会に多くの学生が遠路はるばる仙台の地にやって来ていただきありがとうございます。多くの応援メッセージやご支援に、あらためて感謝・御礼申し上げます。

「サークル規制」と「非公認団体の部室剥奪」を絶対に許さない、キャンパスで反原発を掲げる、「教育の民営化」を絶対に

いくんじゃなくて(笑)、僕はこれから1年間、掲げた公約を絶対に貫き通し、責任をとる。そして、学生自治会の先頭で闘っていきます。

「信任6割」ということの意味ですが、われわれ東北大学

【選挙結果】

中央選挙管理委員発表

投票総数	…	982票
信任	…	591票
不信任	…	250票
白票	…	104票
無効票	…	37票

※以上の結果、青野弘明君(委員長候補)、川戸章裕君(副委員長候補)、深谷慎介君(同)が信任されました。

学生自治会は、入学式や学部別オリエンテーションから、ゴリゴリと当局からの「カルト」「政治セクト」などと宣伝され、『学生協ニュース』という当局文書でも誹謗中傷される。それなのに、当局の反動をうち破って6割の学生が信任の「○」を書いたのは大きなことです。学生自治会が非公認化された2001年以降の12年間の闘いへの学生の信頼があるからこそ、当局の誹謗中傷の中、毎年の選挙で信任をかちとってきている理由だと思うんです。学生自治会の先輩方はすごい人が多く、全国学生運動を切り開いてきた自慢の先輩方です。僕も、それに恥じないように自治会を引っ張っていこうと思います。

この1～2年の自治会をめぐる攻防はかなり激しくて、今回副委員長になった深谷さんへの退寮強要攻撃から始まり、今年7月20日の全学説明会なるものから始まる「非公認団体」からの部室取り上げ、さらに自治会書記局員への呼び出しがあります。それを一つひとつ粉碎し勝利してきた。その結果として今回の自治会選挙に勝利し、完全に前年度今年度の当局との闘いに勝利したと僕は総括しています。

この勝利はギリギリのラインです。本当に勝つか負けるかという闘いを、この1年間やってきました。「呼び出し」というのは、親をも使ったオルグで非常に許しがたい。これは東北大学だけでなく、法政大学、福島大学でも同じです。親子の家族関係を利用して、「弱点」とみなして、親を使った逆オルグをしかけてくるのは僕は絶対に許せない。そういうやり方の大学当局は断固粉碎しようと、僕はこの1年間本当に怒り、心の沸騰するような、脳みそに血が上るような思いでした。それなのに、僕にだけ呼び出しも親へのオルグもない(笑)。まったく何の音沙汰もない。まあ、敵もわれわれに恐怖しているということですよ。

何で私が自治会委員長に立候補したのか。学生自治会の活動をやり始めたのは去年の5月からですが、去年は委員長での立候補をお断りして、副委員長で立候補しました。責任を取れる自信がなかったし、僕に委員長の素質はない

であろう、と。しかし、1年間それをずっと考えて、去年立候補しなかったことで敵に弱みを突かれたこともありました。東北大学学生自治会はやっぱり大切なんですよ。自治会しか大学当局に物申す機関は東北大にありませんし、全学連で「全国に学生自治会を」と言っているのに、東北大の学生自治会がつぶれてしまったら何の面目も立たない。

さらに一番の原因は、東北大の今年の新入生や同年代の全国学生の決起を見て、「僕はこのままでいいの」「このままなあなあで済ませられるのか、いやそれは出来ないだろう」というのがあります。この1年間の闘いの総括、そして自分に何ができるのかを考えた上で、力及ばずながら委員長に立候補させていただきました。

学生自治会の活動は、得にはならないですよ。自治会委員長といって報酬もらえるわけではないし、当局から批判をされる団体のトップに立つということで、もちろん周りの目もあって大変だということもあります。でも、お金とかそういうものじゃないじゃないですか。そんなお金とかブルジョア的な得とか、そういうものでわれわれは闘うわけじゃないです。ここにいるみなさんだって、別に利権とか利益で闘っているわけじゃないじゃないですか。心に各自思うものがあるって闘っているわけです。すべての学生がそうだと思うんです。その先頭で僕は闘っていきたい。

最後に総選挙情勢についてですが、まったくもって全然話にならないですよ。上は自民党から下は日本未来の党、幸福実現党まで、一つも投票できる政党がない。

僕の身内の自民党のゴリゴリの党員が、安倍晋三が自民党総裁になった時に「安倍なんかもう一回総裁になるようでは、自民党は終わっている。維新の会も期待できない」と。自民党の活動家がそう言わざるをえないものが、今の自民党や維新の会です。本当に、今の既成政党や体制内政党は国民に絶望しかもたらしめている。それをうち破って誰が求められているのかというと、それはわれわれなんです。

本当に闘う存在が今、国民に求められている、学生に求

められている。今回の総選挙の結果、安倍が総理大臣になったら、どんどん新自由主義が推し進められる。大学でも新自由主義的なものが推し進められていくでしょう。原発も、どんどん再稼働の圧力が強まっていくと思います。ここに負けないで、絶望しないで、闘って勝つ！それが全学連に求められているものです。その先頭で僕も闘います。頼りない学生自治会委員長ですが(笑)、全国の力で支えてください。僕もみなさんの期待を裏切らないように闘います。力を合わせて頑張りましょう！よろしくお願いします。



処分撤回を訴える法大・武田雄飛丸君



自治会選挙総括を提起する
石田真弓・全学連副委員長